

施策分析シート（平成24年度）

No1

施策名	バリアフリー化の推進	施策No	02-09	部課名	防災都市づくり部都市計画課		
				課長名	松土 内線 2810		
関連部課名	福祉部障害者福祉課						
行政評価	分野	生涯健康都市[]					
事業体系	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]					
目的	だれもが安全で安心して暮らせるよう、様々なバリアフリー化を推進する。						
指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	新バリアフリー基本構想策定の進捗率	60%	70%	80%	90%	100%	区全体基本構想策定：60%、重点整備地区別計画策定：1地区につき10%増
現状と課題 (指標分析)	<p>近年、各鉄道駅施設内のバリアフリー化は進んできているが、駅周辺地区のバリアフリー化が未だ十分ではない状況にある。</p> <p>これまでの交通に関するバリアフリー化だけでなく、高齢者や障がい者・子育て世代等、だれもが安全で安心して暮らせる様々なバリアフリー化を図る必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>平成21年度にバリアフリー新法に基づく区全体のバリアフリー基本構想を策定し、4つの重点整備地区を設定した。平成22年度には町屋駅・区役所周辺地区、平成23年度には日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定した。平成24年度以降も、南千住駅周辺地区、熊野前駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定し、区全体のバリアフリー化を推進していく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	公共交通網の整備を推進するとともに、だれもが安全で安心して暮らせるよう様々なバリアフリー化を図る必要がある。

施策分析シート（平成24年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		22年度	23年度	24年度 設定	25年度 設定	
福祉のまちづくり・鉄道駅 エレベーター等整備支援事業	06-05-77	60,406	0	休止・ 完了	休止・ 完了	平成22年度のJR三河島駅の整備完了 に伴い事業終了
バリアフリー整備促進事業	09-01-06	7,169	7,545	重点的 に推進	重点的 に推進	高齢者等の移動や施設利用の利便性を 確保するための最優先の事業である。
日暮里駅総合改善事業 (再掲)	09-01-10	(4,014)	-	継続	継続	日暮里駅整備(株)の適切な運営に関する 調整を行う。
合 計		67,575	7,545			